

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

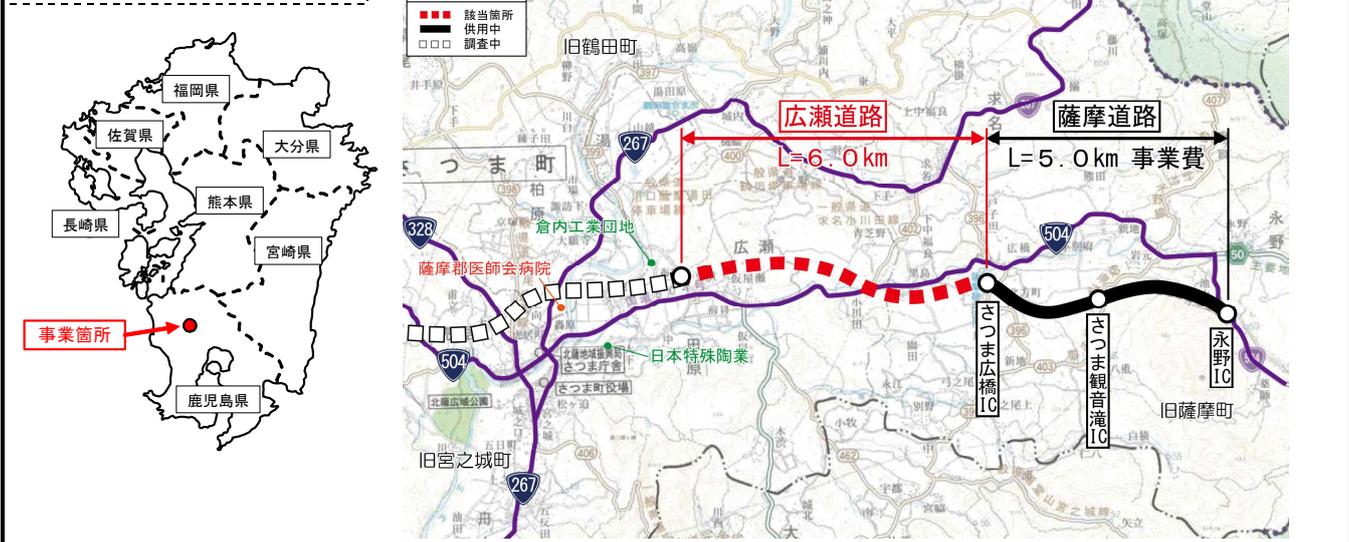
事業名 地域高規格道路 <small>ほくさつ</small> 北薩横断道路 一般国道504号 <small>ひろせ</small> 広瀬道路	事業区分 一般国道	事業主体 鹿児島県		
起終点 自：鹿児島県 <small>さつまぐん</small> 薩摩郡 <small>さつま</small> さつま町 <small>ちようぐみよう</small> 求名 至：鹿児島県 <small>さつまぐん</small> 薩摩郡 <small>さつま</small> さつま町 <small>ちようひろせ</small> 広瀬	延長 6.0km			
事業概要 広瀬道路は、地域高規格道路である北薩横断道路の一部を担い、当該箇所を整備することにより、鹿児島空港等へのアクセスが向上するとともに、北薩地域の物流及び交流の活性化を図ることを目的とした延長約6.0kmの道路である。				
平成23年度事業化	都市計画決定 無し	H24年度用地着手	H25年度工事着手	
全体事業費	100億円	事業進捗率	24% 供用済延長 — km	
計画交通量	6,300台/日			
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業/事業全体) 75/92億円	総便益 (残事業/事業全体) 112/112億円	基準年 平成27年
	(残事業) 1.5	事業費：70/87億円 維持管理費：4.4/4.4億円	走行時間短縮便益：69/69億円 走行経費減少便益：20/20億円 交通事故減少便益：23/23億円	
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.2 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.4~1.5 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.3 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.4~1.7 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.3 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.4~1.6 (事業期間±20%)				
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（空港へのアクセス向上が図られる） ・物流効率化の支援（農産品の流通の利便性が向上する） ・災害への備え（第一次緊急輸送道路としての位置づけ） 				
関係する地方公共団体等の意見 ・さつま町をはじめとする4市2町で構成される北薩空港幹線道路整備促進期成会等より早期整備の要望が行われている。				
事業評価監視委員会の意見 ・鹿児島県事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年3月22日に宮之城町、鶴田町、薩摩町が合併し「さつま町」となる。 ・北薩横断道路の永野IC~さつま観音滝ICが平成21年3月23日、さつま観音滝IC~さつま広橋ICが平成24年2月14日に開通した。 				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率73%、事業進捗率24%(H28年2月時点)				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き早期供用に向け工事等の事業進捗を図っていく。				
施設の構造や工法の変更等 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート二次製品の積極的な活用を図るとともに基礎砕石や舗装材料は、再生材を使用しコスト縮減を図っている。 ・今後も積極的に建設発生土を盛土材として利活用する等、コスト縮減に努めていく。 				

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性に変化はなく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。